

宝山寺周辺

階段およびそで壁は可能な限り「粗」なイメージの仕上げ(切り放しではなくノミきり仕上げ等)として、固くなり過ぎない空間デザインとする
 階段の法線を少しずらすことで動線に「変化」を生むことが出来る

低木・地被植栽
 低木はヒラドツツジ、地被類はマツバギク、ヤブラン等の和種とする

ヤマザクラの植栽
 植栽当初から見栄えのする形状とする

隣接する民地のみどりの活用
 民地のみどりも参道の景観を創出する要素の1つであるとの考えから、「景観貢献緑化協定」等の持続可能な仕組みづくりを図る



階段のそで壁(石積み)は天端を水平にせず、階段に沿って傾斜を付けることとし、視界を狭めるような背の高い構造物とならないようにする

参詣の人たちをもてなす花鉢
 花台を備えて、季節毎の花鉢を置けるようにする
 継続性を担保するため地元の方々との協働体制を構築する
 花台は階段の上部に設置して大きな構造物にならないようにする

宝山寺周辺

